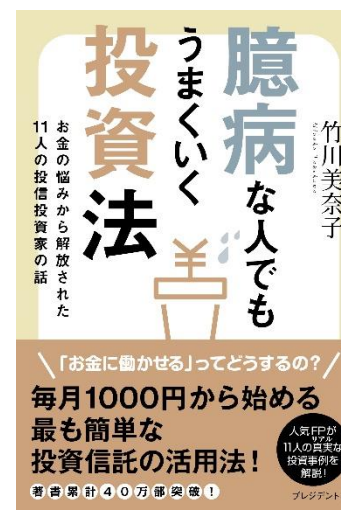


今日から
資産形成を
はじめよう！



LIFE MAP 合同会社 代表
ファイナンシャル・ジャーナリスト

竹川美奈子

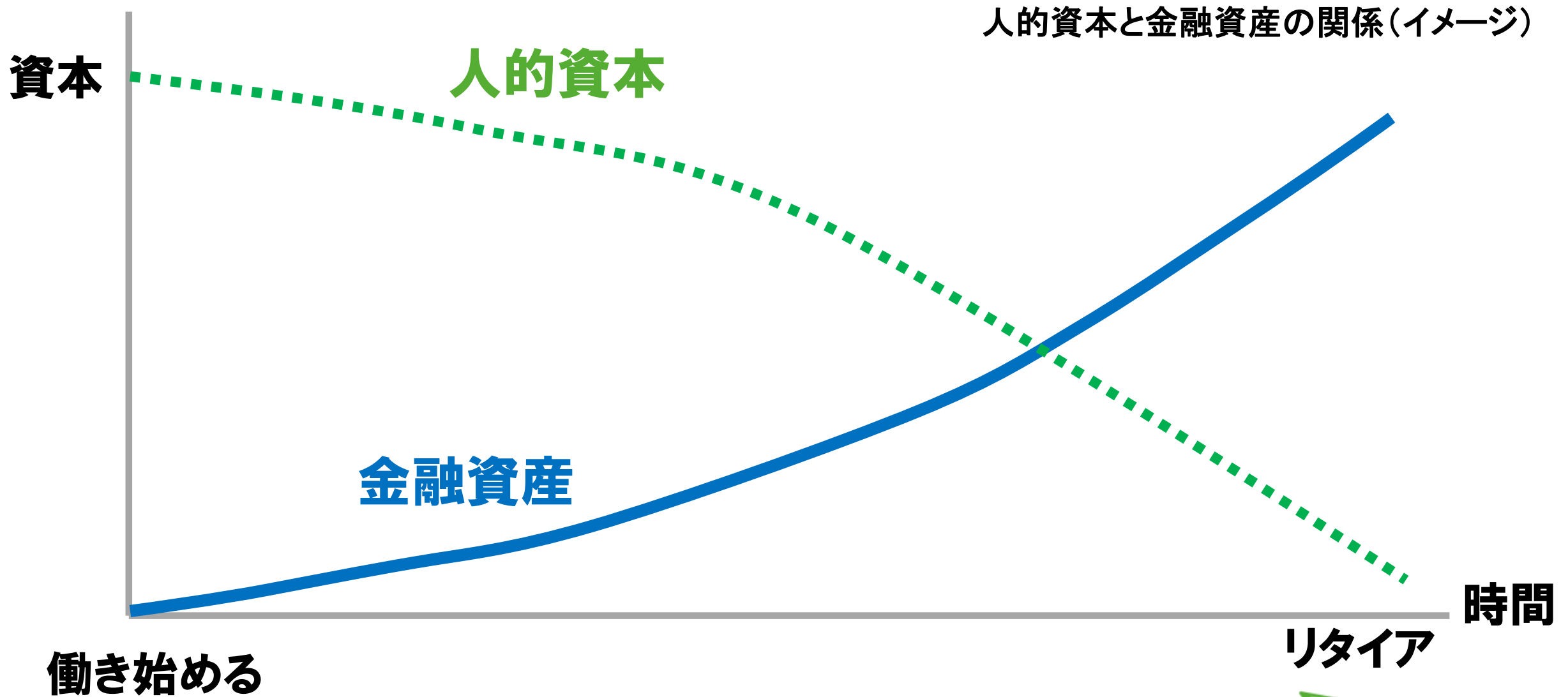


なぜ資産形成が必要？



将来の 選択肢を ふやすため

人的資本が縮小するまでに金融資産を築く必要がある



攻めと守りをバランスよく

資産形成

貯蓄(ためる)

投資(長期でふやす)

備える

万一に備えるお金

必要な保障

平均 モデルケース



自分・我が家は？

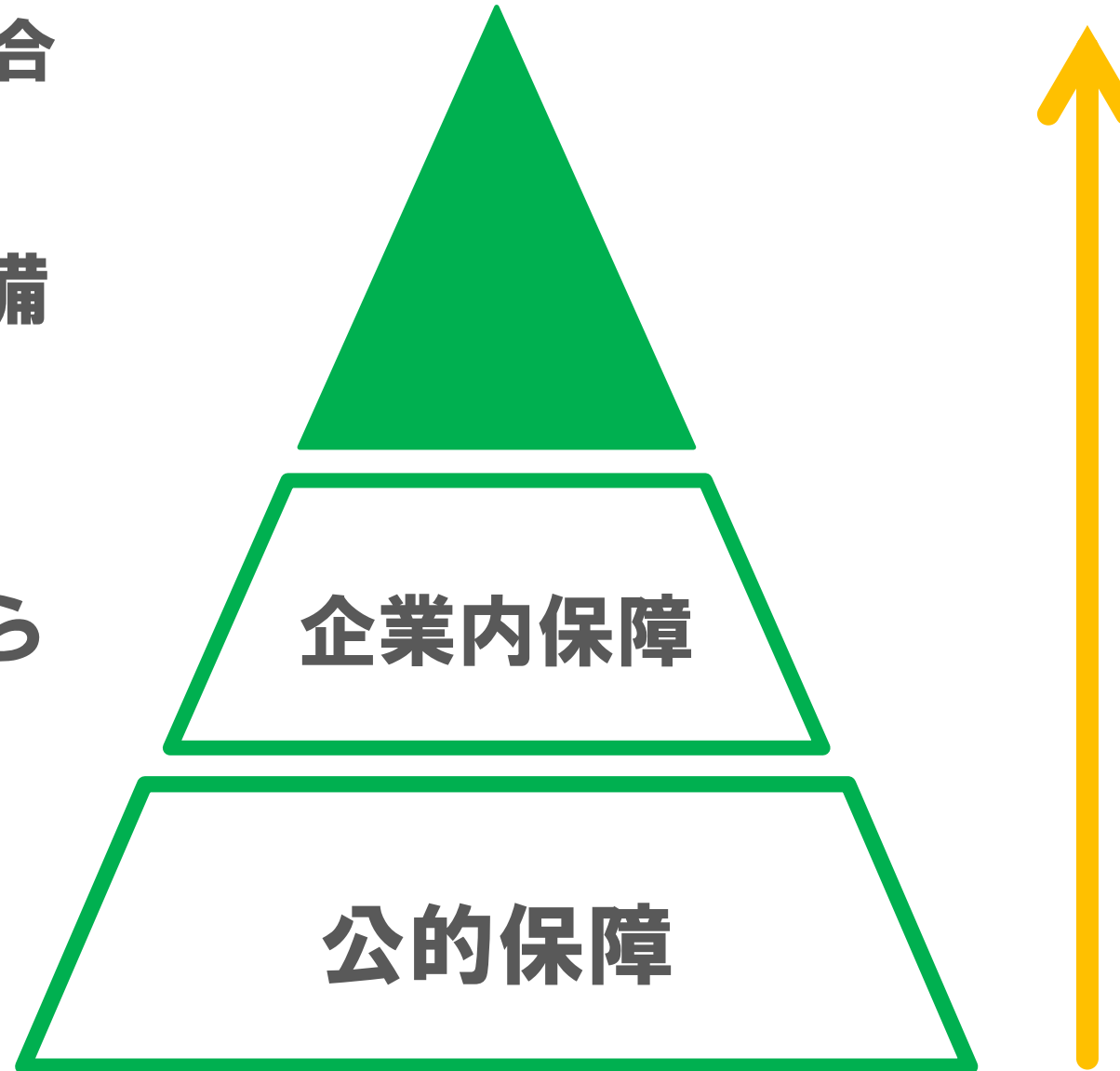
- 現時点で資産と負債いくらある？
- 毎月いくらあれば暮らせる？
- 1年間でいくら貯蓄(＋投資)できた？

三角形(三層)で考える 会社員・公務員の場合

③自分で準備

②勤務先から

①国から

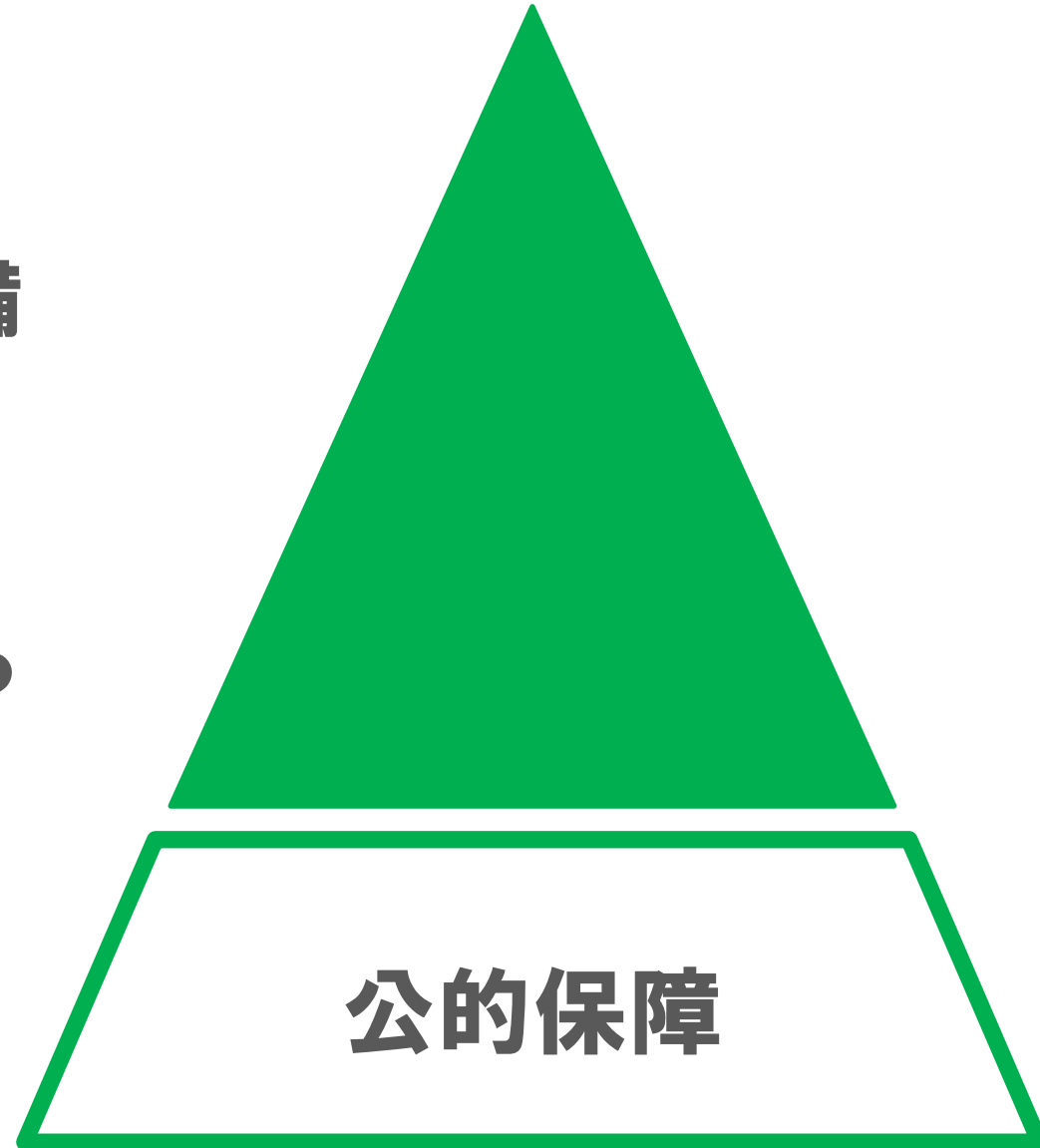


フリーランス

③自分で準備

②勤め先から

①国から



<資産形成>

③自分で準備

貯蓄や投資

②勤務先から

退職給付

退職一時金
企業年金
(確定給付型)
(確定拠出型)

①国から

公的年金保険

厚生年金
国民年金

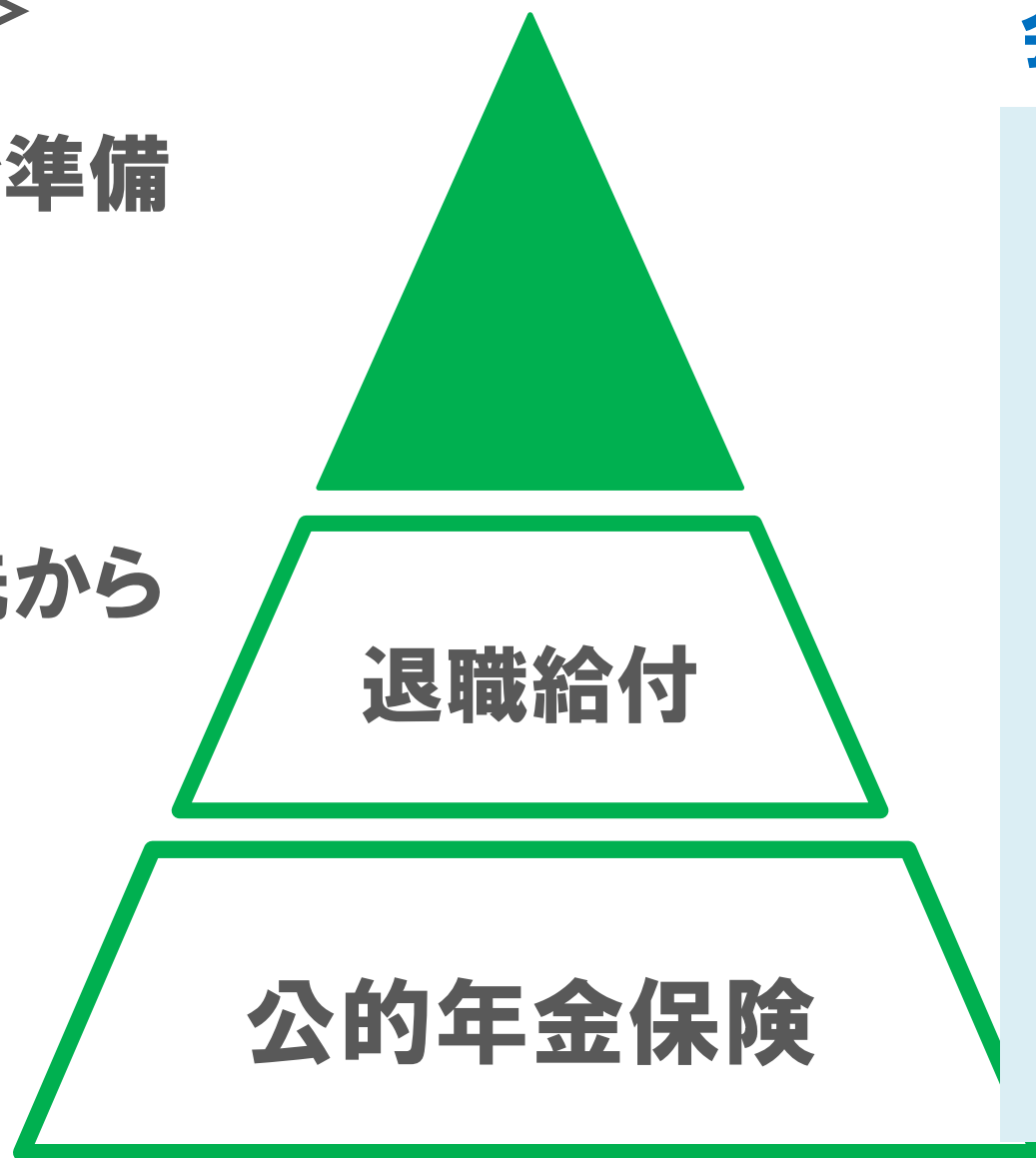


<資産形成>

③自分で準備

②勤務先から

①国から



退職給付

公的年金保険

会社員・公務員

貯蓄や投資

退職一時金
企業年金
(確定給付型)
(確定拠出型)

厚生年金
国民年金

フリーランス

貯蓄や投資

国民年金

しくみ化する

会社

お給料



生活用の口座



貯蓄用の
ポケット

目的があって
貯めていくお金

プール用の
ポケット

万一に備えるお金
税金、帰省代など
毎年使うお金

投資用の
ポケット

将来のために積
み立て投資

投資のポケットは

長期
分散
低コスト

+

積み立て

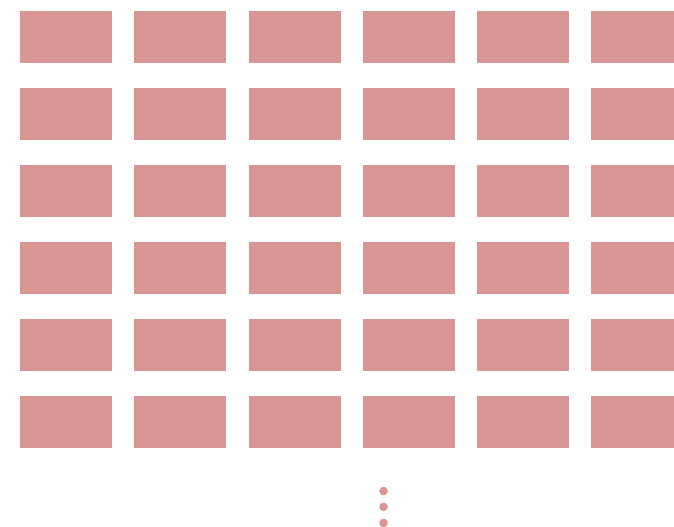


投資信託は資産形成の「道具」として使いやすい

先進国株に投資をする
インデックスファンド

アップル
マイクロソフト
ネスレ
ジョンソン & ジョンソン
...

約1300社



分散投資が手軽

全世界株

日本除く世界株

先進国株

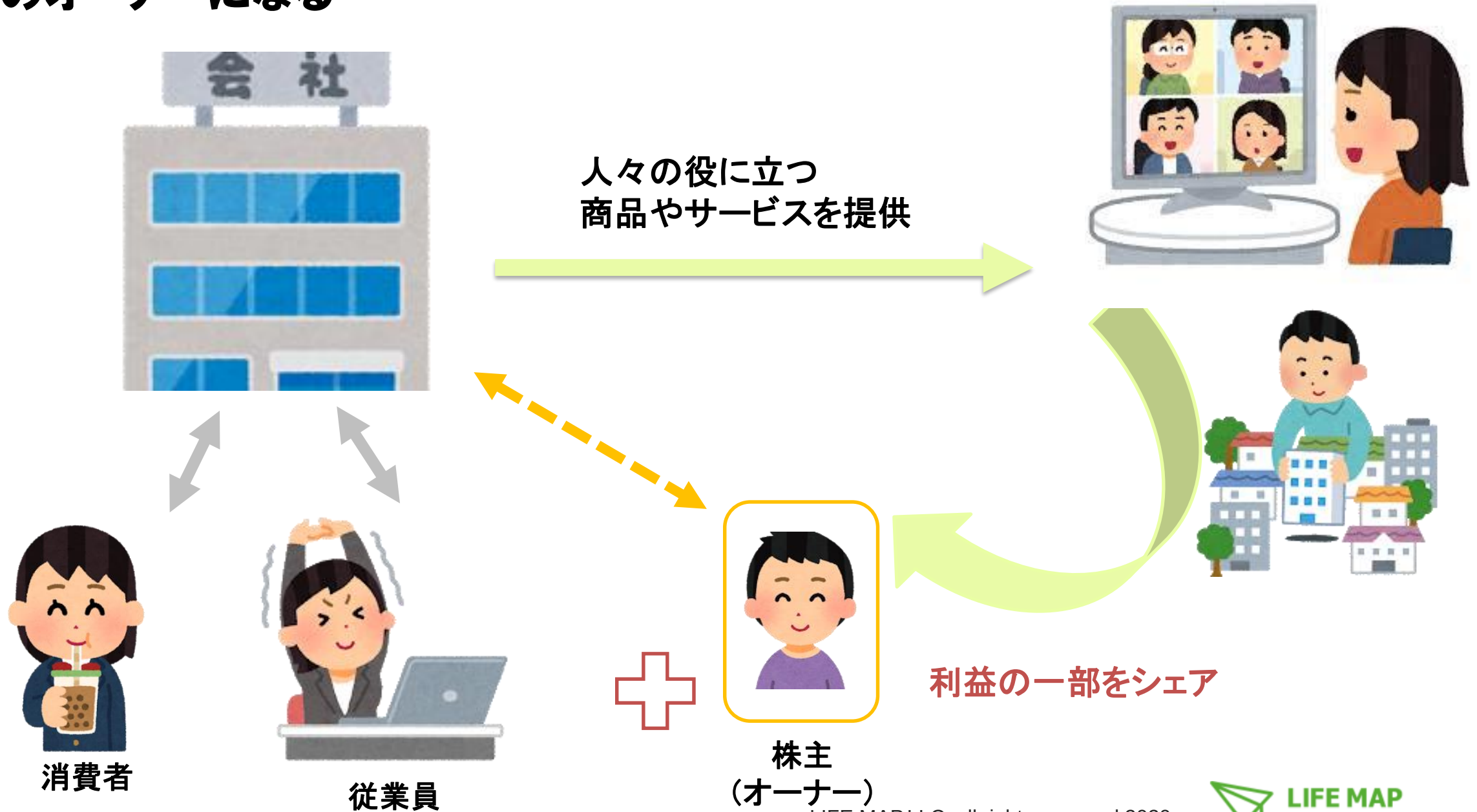
新興国株

日本株

米国株

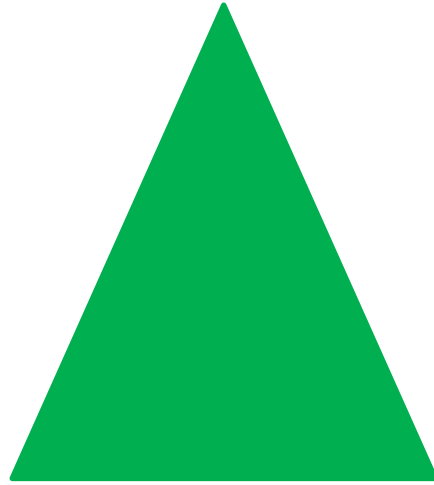
どんな
範囲に投資
できればよい？

企業のオーナーになる



税制優遇のある制度を 活用する

③自分で準備



②勤務先から

退職給付

企業型確定拠出年金

①国から

公的年金保険

③自分で準備

iDeCo
つみたてNISA
小規模企業共済

②勤務先から

退職給付

①国から

公的年金保険

<つみたてNISA>

- 一定の基準を満たした投資信託とETFを積み立て
- 非課税期間: 最長20年
- 解約したときの利益や普通分配金が非課税になる
- 投資上限額: 年40万円
- 対象者: 日本に住む20歳以上の人(*1)
- いつでも解約できる
- 預け替えできない

iDeCo(個人型確定拠出年金)

- ◆ 公的年金に上乗せして自分で老後資金を作っていく制度
- ◆ 対象者: 60歳未満の国民年金・厚生年金の加入者(*2)
- ◆ 掛金: 月5000円以上1000円単位(上限は属性によって異なる)
- ◆ 預金、保険商品、投資信託)を選んで運用(預け替えも可能)
- ◆ 原則60歳になるまで引き出しできない
- ◆ 一時金、分割受取、併給

*1 2023年1月1日以降、18歳以上の人が利用できるようになる

*2 2022年5月から65歳まで加入できる。ただし第1号加入者・第3号加入者は国民年金に任意加入、第2号加入者は厚生年金に加入している場合

iDeCo(個人型確定拠出年金)

イデコちゃん



公的年金に上乗せして
自分で老後資金を
作っていく

つみたてNISA

いつでも解約し
お金を引き出せる

- ・ 長期的に運用し、老後資金の一部に充てる
- ・ 利益がでているときに解約し、ほかの用途に充ててもよい(例えば、教育費や住宅購入の頭金など)



いつでも解約できるので
どんな用途でも
利用できるよ

<つみたてNISA>

● 税金

- 投信・ETFを解約(売却)したときに利益がでていると課税されない
- 普通分配金／配当も非課税
- 損益通算できない
- 損を繰り越すこともできない



iDeCo(個人型確定拠出年金)

◆ 税金

- 掛金を払う時: 非課税(全額所得控除)
- 加入中: 非課税(*)
- 給付: 原則課税
(退職所得控除、公的年金等控除あり)

◆ 口座管理手数料がかかる

- (年間2000円程度～7500円程度)

* 特別法人税が凍結されている

みなさんが決める必要があるのは次の4つ

- 金融機関
- 掛金（積立額）
- 商品（どこの・何に）
- 配分割合／いくらずつ

- ☑ 商品の数・品揃え
- ☑ iDeCo:口座管理手数料
- ☑ ネット完結か窓口あるか

【iDeCo】

月額5000円以上1000円単位

フリーランスなど国民年金のみ

上限額
年間81万6000円
※1

会社員

企業年金がない

年間27万6000円

企業型DCのみ(※2)

年間24万円

確定給付型のみ

年間14万4000円

確定給付型＋企業型DC
(※2)

年間14万4000円

公務員

年間27万6000円

第3号被保険者

【つみたてNISA】

年間40万円
(月3万3333円)

※1: 国民年金基金と合算した額、国民年金の付加保険料を払っている場合には上限額は1000円下がる

※2: 規約でiDeCoの加入を認めている場合に限る。2022年10月1日からは規約の定めにかかわらずiDeCoに加入できるようになる(ただし、その場合企業型のマッチング拠出はできない)。

※iDeCoは 2018年からは事前に届け出をすれば、年1回～11回、ボーナス時の増額なども可、年6万円以上)

LIFE MAP, LLC, all rights reserved 2020



掛金：変更できる！

ライフスタイルに応じて柔軟に

続けること

資産をふやすには



ライフプラン



商品(どこの何に)



制度

やってほしいこと

- ☑ 日本年金機構のWebサイトから「ねんきんネット」に登録する
 - ー記録確認(未納期間はないか)
 - ー見込額をみる(条件を変えて)
- ☑ 勤務先の退職給付制度を調べる
- ☑ いくつか候補を選んで金融機関(運営管理機関)に資料請求
- ☑ 掛金(つみたて額)・商品・配分割合を検討する

重要事項(ディスクレームー)

- 本資料に含まれる情報に関しては、作成者が信頼できると判断した情報をもとに作成したものです。その内容および正確性、完全性、有用性について保証するものではありません。また、資料に記載された内容は2020年月8末時点において作成されたものであり、予告なく変更される場合があります。
- 本資料における情報は情報提供を目的としたものです。投資対象および商品の選択など、投資にかかる最終決定はご自身の判断でなさるようお願い致します。